

楽楽館だより 第151号【令和2年1月度】

立春を過ぎ、暦の上では春となりましたが、風が頬に冷たい日もまだまだありますね。ニュースを騒がせている新型コロナウイルスの影響で、あちこちでマスクが品切れしているとのこと。今、本当に必要な方の手に渡らないのが心配です。様々な感染症が流行る時期ですので、館でも皆様のご利用中の様子を注視し、ご家族様やケアマネジャーさんと連絡を取り合って、支援させて頂きたいと思っております。1月のご様子をお届けします。

◇ ～寒くない初詣～◇

さて、今年も皆様を初詣にお連れしました。お正月休みの間にご自分で行かれた方もいらっしゃるかもしれませんが、まだお参りされていない方も多くいらっしゃる、毎回とても喜んでくださいます。温暖化の影響なのか、年々初詣が寒くなっているような気がします。ポカポカ陽気の中、ゆっくり・しっかりと歩を進められた皆様でした。



◇ ～百歳お祝いの会！～◇

楽楽館創設以来、初めて、現在ご利用中のご利用者様が百歳を迎えられました！百歳は“ももじゅ”と言うそうで、桃色や白色がテーマ色とのこと。記念すべきこの日に、楽楽館としてどんなお祝いをして差し上げたらいいか…。スタッフ達からも様々なアイデアが出ました。結果、「もも寿」にぴったりの「桃色のちゃんちゃんこ」と



帽子をスタッフが手作りし、総重量3.7kg・40×31×高10cmの超ジャンボサイズのケーキと花束でお祝いすることに☆当日は音楽療法の先生に来ていただき、1・2号館合同で懐かしい歌とハッピーバースデーを歌った後、記念撮影をしました。皆さんから拍手とお祝いの言葉を頂き、とても嬉しそうなお顔を見ることができました。周りのご利用者様からは、「私も百まで頑張ってお祝いしてもらおうわ！」という元気なお声を聞くことができました。

◇ ～お正月遊び・回想法も入れて～◇

年始は、お参りに行くと同時に正月遊びも行いました。“回想かるた”というかるたがあり、カードには懐かしい生活用品や景色がたくさん写っています。かるたを取りながら、スタッフがひとつひとつそのカードについてお聞きし、皆様にたくさん発言していただきます。昔懐かしい生活を思い出され、笑顔のあふれる時間となりました。



◇ ～今月のナイスショット～◇

(写真・左)

朝の会の風景。楽楽館では、朝、昼食時、帰りにご挨拶を担当して頂くお当番がいます。この日は、さあ！今日も1日始まるぞ！と皆様が気合を入れた所の第一声で、「皆さん、こんばんは！」とおっしゃったお当番さん。朝からドッと大笑いが出ました！

(写真・右)

“介護を明るく”が楽楽館のテーマのひとつ。女性スタッフは「口紅くらいは付けましょう」と意思統一し、介護をする側自身が、明るい印象でいられるようにしています。

